

ご自由にお持ち帰りください
TAKE FREE

¥0

石川のスポーツ応援マガジン #25

GO-SPO

【特集】車いすハンドボールコミュニティ 「OZ」の挑戦



伝統の祭り太鼓に、新しい風を
輪島・和太鼓 虎之介

する人、観る人、支える人を、応援する。
金沢文化スポーツコミッション

七尾市の子どもたちに聞いた！
ぼく・わたしの夢

明治安田が最新スタジアム6選を発表
金沢ゴーゴーカレースタジアムが選出

【掲載コラム】部活動はどこへ
かほく市井上教育長に質問

輪島の子供たちに笑顔を
NOTO COMPLEX PLAY GROUND



私達と一緒にイベントを作ってみませんか!!

ホクスイでは設営、商品レンタルなどイベントに関わる仕事をしています。

イベントならホクスイ



正社員・アルバイト 募集中!!

お気軽にご連絡ください

ウェブサイト



Event Produce

ホクスイ

〒921-8001
石川県金沢市高島3丁目259
☎(076)291-2725(代)
✉ hokusui@nsknet.or.jp

フリーマガジン (無料)
ご自由にお持ち帰りください

GO-SPO

Vol.25 発行日2026年5月1日 発行 株式会社ワン・オール

CONTENTS

GO-SPO No.25

- 2 **【特集】車いすハンドボールコミュニティ「OZ」**
地域とパラスポーツの未来を切り拓く
- 6 **輪島・和太鼓 「虎之介」**
伝統の祭り太鼓に、新しい風を
- 8 **ぼく・わたしの夢**
七尾市の子どもたちに聞いた！
- 10 **金沢文化スポーツコミッション**
する人、観る人、支える人を、応援する。
- 12 **金沢ゴーゴーカレースタジアムが選出**
明治安田が最新スタジアム6選を発表
- 14 **NOTO COMPLEX PLAY GROUND**
輪島の子供たちに笑顔を
- 16 **部活動はどこへ**
かほく市井上教育長にインタビュー

スポーツ安全保険®

小さな掛金で充実補償



熱中症も対象



ネットで簡単手続き



スポあんネット
インターネットでかんたん加入

団体活動のための総合補償

#スポーツチーム #大学クラブ #スポーツ少年団 #放課後事業
#総合型地域スポーツクラブ #教室 #部活動地域移行 #文化系サークル #ボランティア

保険の詳細な内容、
資料の請求は、
ホームページを
ご覧ください。



金沢 ゆめのゆ



〒920-0346 金沢市藤江南 3-26 TEL 076-204-5489

金沢西インターから車で5分！
「ゆめのゆ」の看板が目印！



県下最大級のラウンジ湯やサウナ、
露天風呂などが大人気！

[引]受幹事保険会社
東京海上日動火災保険株式会社

[共同引受保険会社 (2025年4月予定)]
あいおいニッセイ同和/共栄火災/損保ジャパン/大同火災/
東京海上日動/日新火災/三井住友海上/AIG損保

公益財団法人スポーツ安全協会

<https://www.sportsanzen.org>

「OZ」(オズ)

【特集】 車いすハンドボールコミュニティ



車いすハンドボールにおける「ティルトテイング」は、車椅子の片側の車輪を浮かせて傾斜させる高度なチェアワーク技術

競技としての魅力と、誰もが関われるインクルーシブな特性を持ちながら、日本では認知も環境も発展途上にある車いすハンドボール。北陸での車いすハンドボールの普及を目指し、2025年7月に始動した車いすハンドボールコミュニティ「OZ(オズ)」。新たな挑戦が、地域とパラスポーツの未来を切り拓く――。

北陸発、「OZ」の挑戦

パラスポーツの中でも、球技ではパラリンピック正式種目でもある車いすバスケットボールや車いすラグビーが広く知られている。車いすハンドボールは1980年代にヨーロッパで考案された比較的新しいパラスポーツだ。近年、国際ハンドボール連盟(IHF)による世界選手権が開催され、4人制ルールの整備とともに競技レベルも向上。ドイツをはじめ、欧米を中心に普及が進み、注目も高まりつつあるという。

日本では2003年に日本車椅子ハンドボール連盟(JWHF)が設立、競技力の向上と競技人口の増加を目指した活動が展開されてきた。しかし、パラリンピック正式種目ではないこともあり、認知度や競技環境はまだ十分とは言えないのが現状だ。

そうした中、25年7月、北陸を拠点とする車いすハンドボールコミュニティ「OZ(オズ)」が立ち上がった。

「まだ始動したばかりのチームで、練習場所も決まっていないんです」

そう語るのは「OZ」代表の山本澄穂さん。医療系通販企業に勤める傍ら、JWHFの広報も務める。

山本さんは、24年の第3回IHF4人制車いすハンドボール世界選手権で日本代表入りを果たした北野尚人さんとともに、「OZ」を創設。現在、北野さんのほか、清水大葵さん、パラカヌー日本代表を目指す岩崎大輔さん(※本誌23号参照)がメンバーとして在籍している。

未経験から日本代表入り



金沢市障害者高齢者体育館(駅西むつみ体育館)にて。「OZ」の選手は皆、車いすバスケットボールチーム「Jamaney石川」にも所属している。

チーム立ち上げのきっかけは、山本さんと北野さんとの出会いにあった。もともと、北野さんを車いすハンドボールに誘ったのは、山本さんだ。

23年、小松市で開かれたイベント「駅ビヤ小松」の中で車いすバスケットボールの体験会が行われた。そこで山本さんは、車いすバスケットの選手だった北野さんを知る。「車いすバスケットだけでなく、パラスノーボードにも挑戦していて、フィジカルの強さ、好奇心旺盛さが光る選手という印象でした」

ちょうどその頃、JWHFで24年にエジプトで開催される世界選手権に向けた日本代表選考会の選手募集が始まっていた。JWHFスタッフも募集していたことから、山本さんが北野さんに声をかけ、それぞれ、スタッフと選手として応募。山本さんは総務として連盟入り。北野さんも選考を通過し、強化合宿を経て、日本代表入りを果たした。連盟の予算的な問題で、残念ながら北野さんはエジプトへの派遣は叶わなかった。それでも、その活動を通して生まれたつながりは大きかったと、山本さんは振り返る。「活動の中で多くの仲間やつながりが生まれ、この流れを切らせてはいけない。北陸でも車いすハンドボールを普及させたいというモチベーション

につながりました

北野さんは、2017年、勤務中の事故で左足の先を切断。2カ月後の入院を要した。もともとスノーボードが趣味だったが、足先切断により、断念せざるを得なかった。1年半後、車いすバスケットボールと出会い、同競技のチーム「Jamaney石川」の所属に。最初は車いすの操作に慣れず、手の皮がめくれることもあったというが、競技の面白さに引き込まれていった。その後、チームメイトのアドバイスもあり、膝下を切断、片足義足となった。

「義足になって、スノーボードもできるようになった」と北野さん。車いすバスケット、スノーボードに取り組んでいた中、山本さんから、車いすハンドボール日本代表選考会応募に誘われた。ハンドボールは未経験だったが、中学時代、水球で全国4位の実績もある強肩の持ち主だ。車いすハンドボール選手には、車いすバスケットと両立している選手も多く、抵抗はなかったという。選考会を勝ち抜き、日本代表入りを果たした。世界選手権派遣はならず、「世界に行けなかった北野です」と苦笑する。

ハンドボールは、キーパーの存在やシュートエリアの制約がある中で、片輪を上げて高さをつくるティルトテイングや、一回転してゴールを狙うスペクタクルシュートを駆使して点を奪い合



写真右:山本さん(左)も車椅子に乗り練習に参加。写真中:カヌーでパラリンピック代表を目指す岩崎さん。写真左:チーム最年少の清水さん。元車いすテニス次世代育成強化指定選手。高校時代はボッチャにも取り組み、全国大会(ボッチャ甲子園)でベスト4入りも。





写真右・上:2026年1月17日に開催されたJWHF主催の車いすハンドボール体験会。「OZ」が主幹を務め、「ハニービー石川」の公式戦の前座として行われた。健常者も多く参加。ハンドボールはバスケットボールと比べてボールが小さく、小さい子どもでも簡単にシュートを打つことができる。「多くの人に体験してもらって、魅力を知ってもらいたい」と山本さん。©SAM713

う。その独特の駆け引きに魅力を感じていると北野さんは言う。「バスケもハンドボールもチーム競技。戦術が噛み合ったときに面白い」。一方で、個人競技のスノーボードにも取り組み続けている。「まずはOZでチームをつくって全国大会に出たい。楽しくないと続かないので、楽しく。できれば勝ちたいですね」

異なる競技で実績のある選手たち

22歳、最年少の清水さんは、生まれつき二分脊椎で、両脚の膝から下に感覚がないそうだ。母の勧めで始めた車いすテニスでは、石川県初の次世代育成強化指定選手に選ばれ、パラリンピック出場を目指していた。一方で競技を続けるには環境面の課題もあった。「相手や場所がないと成り立たない競技。石川県で続けていく難しさを感じました。高校卒業を機にテニスからは離れ、並行して取り組んできた車いすバスケットボールへと軸足を移した。小学生から続けてきたバスケットボールは13年目を迎える。ハンドボールに興味を持ったのは、チームメイトの北野さんの存在だった。映像で競技を見て、「迫力があって面白そう」と感じ、挑戦を決めた。「バスケより攻防が激しくて、打つときの力強さがある」と、その魅力を語る。

自身の持ち味はスピードだ。「これまでやってきたどの競技でも、スピードを活かしてきたので自分の強みだと思います。試合の流れをつくれる選手になりたい」。若い力が、チームに新しい風を吹き込もうとしている。

パラカヌー代表目指す「四刀流」

本誌23号の特集でも紹介した右崎大輔さん。十代の頃のバイク事故で脊髄を損傷。その後、車いすバスケットボールに出会い、現在主競技とするパラカヌーでは日本選手権優勝の実績を持つ。カヌー、ノルディックスキー、車いすバスケットボール、車いすハンドボールという「四刀流」アスリートだ。異なる競技に取り組む中、チームスポーツの魅力を次のように話す。



「OZ」代表の山本澄穂さん。車いすハンドボールのパラリンピックへの正式種目入りを目指し、JWHF所属の広報としても車椅子ハンドの普及に邁進する。10代の頃はソフトボールとバレーボールを経験。

競技人口が増えて、受け皿ができれば、やりたい人ができる。そういう環境が広がればいいな。その思いもまた、「コートに立つ理由の一つだ」。

JWHFイベントを石川県で開催

2026年1月17日、「ハニービー石川」の公式戦の前座として、JWHFによる車いすハンドボールのイベントが開催され、「OZ」が主幹を務めた。車いすハンドボール日本代表選手による実演に始まり、実技を含めた多彩なプログラム。さらに北陸では初となるエキシビジョンマッチも実施され、会場は大きな盛り上がりを見た。もともと別地域で予定されていた体験会が、会場の都合で実施できなくなり、山本さんが「それなら北陸でやらせてください」と声を上げたことで実現したという。「資金面が一番の課題。そ

がクリアできるなら、やるしかないと思いましたが山本さん。地元ハンドボール関係者や大学、専門学校などにも声をかけ、当日は80人近くが参加。競技に触れる機会の少ない地域にとって、大きな一歩となった。

チームとしての当面の目標は11月の全国大会だ。「メンバーを増やすこと、全国大会に向けて練習していくことが短期目標です。出るだけなら勝つたいですね(山本さん)」。ハンドボールには女子を1名入れる必要があり、現在は山本さんが車いすの操作を覚えながら練習に加わっている。車いすバスケもハンドボールも、健常者でもプレーできる競技だ(※)。



車いすハンドボールイベントでのエキシビジョンマッチの様子 ©SAM713



チーム名の「OZ(オズ)」は、童話オズの魔法使いに由来する。脳みそのないカカシ、心を持たないブリキの木こり、臆病なライオン……それぞれ弱さを抱えながらも、個性豊かな仲間たちが力を合わせ、旅を通して成長していく物語だ。

チーム名に宿るコンセプト

※国内大会は健常者でも出られるが、JWHFが出場を目指す「世界選手権(4人制)」は出られない規定がある。石川県はハンドボール強豪チーム「ハニービー石川」を擁し、競技の土壌はある。その強みを生かしたい、と山本さん。「ハンドボール強豪地域である北陸のアドバンテージを生かして、障害の有無にかかわらず、選手として活躍できるポテンシャルを持った選手候補を発掘したいですね」。都市部では、健常者も含めた車いすスポーツの裾野が広がっているという。山本さんは、「まずは知ってもらうことから。そこから石川のパラスポーツ全体を盛り上げていけたら」と話す。将来的には、地域を越えた大会の開催も見据える。「全国のチームを呼んで、「OZカップ」ができたらいいな」。歩みは、まだ始まったばかりだ。



車いすハンドボールイベントでのエキシビジョンマッチの様子 ©SAM713

他方、車すハンドボールには選手の障害の程度に応じて「持ち点を付与し、「コート上の合計点を制限するルールがある。さまざまなたち点を持った選手が、お互いの多様性を認め合い、協力しながら、新たな出会いや発見を重ねていく。チームのコンセプトは童話のテーマとも重なる、と山本さん。「チームづくりは難しい。試行錯誤の連続で、何が正解かもわからない。でも少しずつ、ですね。登山と同じで、一歩ずつ進めば、いつかは頂上にたどり着く。目標を決めて、「コツコツ積み重ねていきたいです」。



石川から始まった新たな一歩が、車いすハンドボールの未来につながっていく。

車いすハンドボール「OZ(オズ)」選手募集中!!



@OZ_WH_SPORTS



OZ(オズ)/車いすハンドボールコミュニティ公式Instagram 「一緒に全国大会出場を目指してくれる方募集中!!」

石川県内の頑張る
ジュニアに聞いた！

ぼく・わたしの夢

- Q1.ぼく・わたしの夢は？
Q2.いま、頑張っていることは？
Q3.好きな選手は？



しまさき りき
島崎 里希さん (10歳)

田鶴浜ヒート 所属

- Q1 Bリーガー
Q2 バスケ
Q3 杉吉 優花

にしだ あゆむ
西田 歩さん (11歳)

城山アスリートクラブ 所属

- Q1 箱根駅伝の選手
Q2 陸上
Q3 三浦 龍司選手



まつだ きどう
松田 生堂さん (9歳)

能登島ジュニアSTC 所属

- Q1 全国大会で優勝すること
Q2 テニスのフキをかきほらしている
Q3 広岡そら選手



なりた しゅうじ
成田 秀師さん (9歳)

能登島クラブ 所属

- Q1 有名な、せんしゅになりたいです。
Q2 (ぼくは体力がないので、体力をい、おしてしあいにしたいです。
Q3 上松俊貴



おかざき
岡崎 ななかさん (8歳)

能登島空手道場 所属

- Q1 金メダルをとることです
Q2 空手
Q3 どうじょうの先生



ふじもと わかな
藤本 和奏さん (11歳)

城山アスリートクラブ 所属

- Q1 体育の先生
Q2 陸上・勉強
Q3 北口榛花選手・藤本茉優選手



RENEWAL OPEN

和倉温泉運動公園
テニスコート

Wakura Onsen Sports Park Tennis Court

高校生以下 ¥300 大人 ¥600 (1時間1面)

七尾市石崎町泉台2番地

TEL 0767-62-0909

和倉の空の下で、
さあ、コートへ。

復興！リニューアルオープンしました。

和倉温泉の豊かな自然に囲まれたテニスコートへ、
初心者からベテランまで、どなたでも歓迎します。

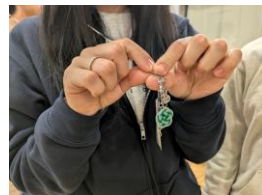
人工芝コート24面

ナイター設備

シャワー室完備

予約受付中





3月19日石川県立音楽堂で第37回西日本医学学生オーケストラフェスティバルin金沢が開催されました。西日本の医学・歯学・薬学・看護学など医療を学ぶ学生が集まり、オーケストラを結成し、金沢文化スポーツコミッションでは開催を記念して「水引バッグチャーム」を進呈し、日頃は異なる大学に在籍しながらも、全員が名札にバッグチャームをつけることで、一致団結！約1週間の合宿で絆を深め、本番では素晴らしい演奏を披露してくれました。



大会 レポート



する人、観る人、支える人を、応援する。 金沢文化スポーツコミッション

5・6月の開催予定大会

競技種目	大会名	開催日	会場
バドミントン	いしかわバドミントンフェスティバルin Kanazawa	5/3日-5火	金沢市総合体育館
サッカー	金沢パークライオンズカップ 2026	5/9土-10日	県営まめだ簡易グラウンド
ウエイトリフティング	GRAVITY IMPACT 2026 in 石川	5/16土-17日	医王山スポーツセンター
陸上	第100回北信越学生陸上競技対校選手権	5/23土-24日	石川県西部緑地公園陸上競技場
モルック	第2回モルック金沢城オープン	5/24日	金沢城公園新丸広場
ドッジボール	2026能登がんばろう杯	5/24日	金沢市総合体育館
サッカー	全域第2回西日本ハイシニアサッカーフェスティバル	5/26火-27水	金沢市スポーツ交流広場
モルック	第6回全日本モルック学生大会-東西合同大会-	5/30土-31日	金沢市営球技場
コントラクトブリッジ	2026年 金沢リジョナル	5/30土-31日	石川県文教会館
陸上	WPA公認 第37回日本パラ陸上競技選手権大会 兼 第31回日本ID陸上競技選手権大会	6/13土-14日	石川県西部緑地公園陸上競技場
チアリーディング	第21回北信越チアリーディング選手権大会 兼 日本選手権大会北信越地区予選	6/14日	いしかわ総合スポーツセンター
卓球	第5回全国百万石オープン卓球大会(小学生の部)	6/26金-28日	いしかわ総合スポーツセンター



**北陸スポーツ
コミッション
エリア協議会開催**

全国初のエリア協議会

2月25日8団体38人が参加する「北陸スポーツコミッションエリア協議会」を開催しました。全国を対象とした「地域スポーツコミッション協議会」とは違い、北陸地区に限定した「エリア協議会」は全国初の取組となります。

北陸地区のスポーツコミッションの連携強化を図るこの会の最大の目的は「お互いをよく知る」といいます。北陸といっても取組は十人十色。それぞれのスポーツコミッションからは各地域の特性を活かした事例の発表、設立検討中の団体からは現状での課題や設立後の夢を共有してもらいました。

また、一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構会長の原田宗彦様からは「今後のスポーツコミッションの方向性について」ご講演いただき、大変有意義な機会となりました。

**金沢文化スポーツコミッション
公式ホームページ**

過去の大会、今後の大会などのイベント情報のほか、スポーツ・文化にまつわる「STORY」、金沢文化スポーツコミッションの取組などを紹介しています

スポーツのちからで能登を元気に
被災した子どもたちの
スポーツにまつわる**“夢”募集!!**
《活動団体》スポーツのちからプロジェクト

Kanazawa Ryokan & Hotel Cooperative Association

合宿・遠征で金沢に来られる皆さん！
お宿探しは「金沢」おもてなしの宿でどうぞ
お食事つきやコインランドリーあり、駐車場ありなど
ご希望の宿が見つかりますよ！

金沢 | おもてなしの宿

合宿

金沢市旅館ホテル協会のホームページ「金沢」おもてなしの宿へはこちらのQRコードから

www.yadotime.jp

金沢の観光スポットやお天気などの情報を発信しています

Instagram @KANAZAWAYADO

大正九年十二月創業

中安旅館

金沢駅より徒歩3分

金沢セントラルホテル
KANAZAWA CENTRAL HOTEL

金沢ゴーゴーカレースタジアムが選出 ～明治安田が最新スタジアム6選を発表～



Jリーグのタイトルパートナー明治安田が「近年新しくなった最新スタジアム6選」を発表。スタジアム設備が綺麗であることはもちろん地域の特徴やコンセプトが反映され、Jクラブサポーターもそれ以外の方も楽しめる6つのスタジアムが紹介されました。

最新スタジアム6選

選出されたスタジアムはいずれも特徴を持っておりその内容を紹介します。

- 金沢ゴーゴーカレースタジアム【金沢】
- サンガスタジアム by KYOCERA【京都】
- エディオンピースウイング広島【広島】
- PEACE STADIUM Connected by SoftBank【長崎】
- カンセキスタジアムとちぎ【栃木】
- アシックス里山スタジアム【今治】



金沢ゴーゴーカレースタジアム(金沢)
2024年に金沢城北市民運動公園(金沢駅から車で10分、IR東金沢駅から徒歩15分に誕生した北陸初のJリーグ規格を満たすフットボール専用スタジアム。地上4階建て。スタンド最前列からピッチまで最短7m、畳シートやソファシート、キッズスペースが併設したテラスエリアなどバラエティに富んだ席種でサッカー観戦が楽しめる。南サイドの象徴的な屋根「ウェルカムゲート」が観客を迎え入れる「おもてなし」を実現。



JR金沢駅から無料シャトルバスが出ており新幹線からのアクセスも良好でコンパクトで臨場感あるスタジアム。金沢観光と観戦をセットで楽しむこともできる。

【2024年 開場】

サンガスタジアム by KYOCERA

京都駅からJR快速で20分の亀岡駅から徒歩3分。全席屋根付きの球技専用スタジアム。スタジアム場外と2階のオーブンコンコースでスタジアムグルメが楽しめる。スタジアム内にはボルタリング施設やVRフィットネス、eスポーツ体験ゾーン、コワーキングスペース等、試合がなくても楽しめる環境が整備されている。



エディオンピースウイング広島

2024年に開場。広島市中心地から徒歩10分という好立地。全天候型で開放的な屋根を持つ今までのないスタジアムデザインが特徴で、ピッチまで最短約8mのスタンド設計などコンパクトで臨場感あふれるスタジアムを実現。

大空翼(キャプテン翼)による「サッカー平和宣言」のスピーチシーンを描いた壁画がある世界に一つしかないスタジアム。

PEACE STADIUM Connected by SoftBank

2024年10月に開業した長崎スタジアムシティ(ジャパネットグループが建設)。ピッチまでの距離日本最短の約5mと観戦体験を重視した構造が特徴。敷地内に約6千人収容のアリーナやスタジアムビュイホテル(スタジアムが臨める客室)、商業施設やオフィスビルが整備されている。JR長崎駅からは徒歩10分という好立地。



カンセキスタジアムとちぎ

栃木県宇都宮市にあるスタジアム。ピッチに近い席や2階から全体を見渡せる席など多様な席種があるので色々な角度から試合を楽しむことができる。全席屋根に覆われており雨の日でも安心して試合観戦することができる。

遊園地「とちのきファミリランド」が併設されており、サッカー観戦とあわせて一日中楽しめる。

アシックス里山スタジアム

2023年1月に愛媛県今治市に竣工したスタジアム。周囲に緑溝や季節の花、野菜、果樹などが植えられ持続可能な農業が行なわれ、散策やピクニック、自然観察などが楽しめる。メインスタンドからは瀬戸内海の絶景を見ることが出来る。自然との共生や地域とのつながりを重視し、時代やニーズにあわせて変化・成長していくスタジアムとして地域の人に親しまれている。



紹介した6つのスタジアムに続いて各地で新スタジアムの整備やリニューアルの計画が進んでいます

- 新設計画
 - ・水戸信用金庫スタジアム(水戸)
 - ・鹿島アントラーズスタジアム(鹿島)
 - ・モンテディオ山形スタジアム(山形)
 - ・いわきFCスタジアム(いわき)
 - ・南葛SCスタジアム(東京)
 - ・ブラウブリッツ秋田スタジアム(秋田)
- リニューアル予定
 - ・パロマ瑞穂スタジアム(名古屋)
 - ・レモンガススタジアム平塚(平塚)
 - ・ユアテックスタジアム仙台(仙台)
 - ・ニッパツ三ツ沢球技場(横浜)
 - ・Uvanceとどろきスタジアム(川崎)



石川県近郊ではJ2カターレ富山の新たな本拠地を見据えた「まちなかスタジアム」の建設構想が進んでいます。このように日本各地で「身近にスポーツがある豊かなスタジアム環境」の整備が進行中です。みなさんもJリーグを観戦して「熱狂のスタジアム」を体感してみてください。

(取材/大田 均)



ボールと友達!

バスケットボールクリニック
 スケボ教室の横ではバスケットボールクリニックが始まった。指導してくれていたのは「金沢武士団(かなざわサムライズ)の岐津コーチと土田選手」。

NOTO COMPLEX PLAY GROUND内は、バスケットコート、スケボコート、ダンス教室などで使用しているコートの3つがあり、多くの子供たちが遊んだりスポーツを興じたりすることができる。

バスケットボールクリニックは、初心者向け・経験者向け・中高生向けに時間帯を分けて実施。まずは5歳から小学3年生を対象とした初心者向けクリニックから開始。最初はウォーミングアップ。楽しく遊ぶメニューからスタート。コーチ陣は子供たちがバスケットを楽しめる内容を意識した組み立てを考えてくれて、ボールと友達になれるような盛り上がるメニューを準備してくれていた。



2026年4月4日、輪島市内でイベントが開催された。イベント名は「輪島なかよしキャラバン」。会場は市内のショッピングセンター輪島ワイプラザ。今回、輪島ワイプラザ敷地内に整備された屋内スポーツ施設「NOTO COMPLEX PLAY GROUND」でのイベント取材。会場では能登の子供たちの笑顔と歓声が広がっていた。

輪島市内にはまだ地震や豪雨の爪痕も残っているが、人々は前を向いて進んでいるように感じた。少しずつではあるが能登は復興に向けて確実に前進している。

輪島市内を移動していると和太鼓の音が聞こえてきた。駐車場に車を停めて歩いて会場へ向かうと「輪だいのフェス」が開催されていた。小雨の中ではあったが多くの市民が打ち手として順番に入れ替わりながら和太鼓を鳴らしていた。身体に響く和太鼓の音が気持ちをワクワクさせてくれた。たこ焼きやドリンクなどの出店もありイベント会場には笑顔が広がっていた。

吉川晃司さんと布袋寅泰さんによるユニット「COMPLEX」のチャリティーライブは2024年5月15日16日の2日間、東京ドームで開催された。2日間の動員数は延べ10万人。この公演は2024年元日に起こった能登半島地震の復興支援を目的としたもので公演の利益のすべては被災地の復旧復興のために寄付された。2日目の終演後に吉川晃司さんは「みなさんに賛同していただいたものは適切に使っていただけることをしっかりと確かめて我々が届けにまいりますので安心してください。ちよっと時間はかかりますがしっかりとやりまします」と話してくれたそうです。



能登半島地震復興支援ライブ (SPICE公式サイトより)

COMPLEXによる能登半島地震復興支援ライブの収益金などから寄付された約13億円の一部を活用して輪島に整備された「NOTO COMPLEX PLAY GROUND」。今回の取材を通して、このスポーツ施設は、震災で遊び場を失った子どもたちに笑顔が戻るきっかけとなる場所だと感じた。時間は必要だろうが能登は少しずつ復興に向かっていていると思う。(取材/大田 均)



シュートゲーム!



輪島の様子

イベント会場となった輪島ワイプラザのショッピングセンター内には「出張輪島朝市」が営業している。輪島塗の工芸品や魚の干物、手作りのお漬物やお花屋さんなど、かつての朝市と同様な品が揃っていた。出張輪島朝市には約40店舗が並び、観光客や市民が買い物と会話でにぎわっていた。

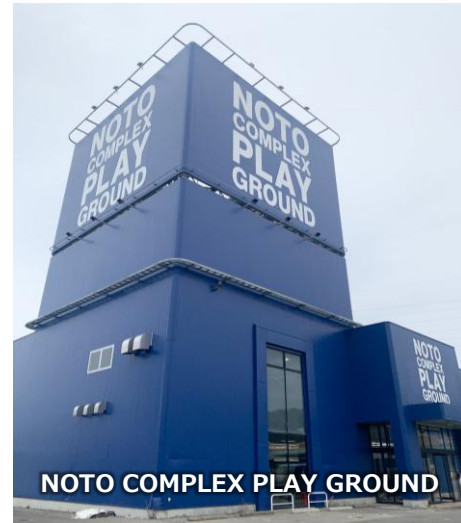
COMPLEXチャリティーライブ

吉川晃司さんと布袋寅泰さんによるユニット「COMPLEX」のチャリティーライブは2024年5月15日16日の2日間、東京ドームで開催された。2日間の動員数は延べ10万人。この公演は2024年元日に起こった能登半島地震の復興支援を目的としたもので公演の利益のすべては被災地の復旧復興のために寄付された。2日目の終演後に吉川晃司さんは「みなさんに賛同していただいたものは適切に使っていただけることをしっかりと確かめて我々が届けにまいりますので安心してください。ちよっと時間はかかりますがしっかりとやりまします」と話してくれたそうです。

能登にスポーツ環境を!

輪島市に整備された「NOTO COMPLEX PLAY GROUND」。布袋寅泰さんと吉川晃司さんのユニット「COMPLEX」が開催した能登半島地震復興支援ライブ(東京ドーム公演)の収益金などから寄付された約13億円の一部を活用して整備されたスポーツ施設。同様に珠洲市でも「すずっこひろば」が整備された。

これらの施設は震災で遊び場を失った子どもたちの心身の健やかな育成と地域住民の多世代交流を目的として整備された。



スケートボード教室

イベント当日は午前10時に開場。まずは「太多優心(ただ ゆうしん)」さんによるスケートボード教室が行われた。太多優心さんは石川県能美市出身で北陸初のプロスケートボーダー(本誌2025年3月号で特集)。定期的に輪島に通って能登の子供たちにスケートボードの楽しさと技術を教えてくれている。

当日参加した子供たちはヘルメットなどの安全装具を付けて思い切りスケートボードを楽しんでいた。



スケボを楽しむ子供たち!



太多優心さんのスケボ教室



ボードをチューニング!

んでいた。太多優心さんのお父さんが子供たちのスケートボードのチューニングをサポートするなど、会場内は柔らかな雰囲気を楽しめる時間が流れていた。

部活動はどこへ Vol.16

2024年7月発行のコースポ14号、『部活動はどこへ』vol.5では、大の里初優勝に沸く津幡町を訪問し、吉田克也教育長に突撃インタビューをさせて頂きました。

『生徒、先生が目標を共有してがんばる部活動』わずか3年足らずという短時間にも関わらず、生徒の成長をはっきりと目で見て、感じることができる『部活動』こそ、教師の醍醐味です。小学校勤務を経て、中学校の先生になった私にとっては、特にその素晴らしさを思います。かけがえのない皆さんの喜びをもらえました。

吉田先生のこの言葉は、今も心にしっかりと残っています。吉田先生は、この4月に津幡町の町長になられました。津幡町の『部活動』に、大いに期待しています。

さて、あれから22ヶ月を経て、vol.16では、かほく市教育委員会の井上勝文教育長に、突撃インタビューをお願いしました。

2025年4月に教育長に就任された先生は、吉田町長と同じく、中学校の校長から教育長になられた方です。筆者が教員のときに、とっでもお世話になりました。先生に、10の質問をしましたら、それぞれに、丁寧に答えて下さいました。

かほく市の『部活動 地域展開』の素晴らしさを、お伝えしたいと思います。

質問①

アスリート・センター・コーチングについてのお考えを聞かせてください。

活動の主体は生徒です。
部活動・クラブ活動は、技能向上にとどまらず、周りの人たちとの人間関係を育み、他者を思いやる気持ち、自己肯定感、責任感の育成など、生徒の人格形成につながるなど、その目的は生徒の成長そのものであると言えます。指導者が、生徒自らが主体となった成長をサポートし、自ら学ぼうとする意欲を大切にすること、すべての教育活動では児童・生徒を真ん中に見据えて、保護者と協力して児童・生徒の育成に当たっていただくことが大切です。

かほく市の教育の基本理念は「自ら考え、ともに学び、明日をひらく人づくり」であり、自立した人づくりを目指しています。その意味ではコーチングの手法も、部活動だけでなく、すべての教育活動において大切にされるべきものと考えています。

質問②

日本スポーツ協会には『優れたプレーヤー』のキーワードとして

- ①能力が高く、技術に優れ、勝負強い
- ②どんな状況でも平常心で実力を発揮できる
- ③視野が広く、状況判断が的確で早い
- ④自らの意思と判断で行動する自主性・主体性に満ちている
- ⑤向上心を秘め、挑戦し続ける気持ちを備えている
- ⑥何事にも積極的に前向きな姿勢にあふれる
- ⑦常にフェアプレイに徹している
- ⑧思いやりがあり、相手を尊重する気持ちに富む
- ⑨協調性を持ち責任感が強い
- ⑩個性的で想像力が豊か
- ⑪コミュニケーション能力が高い

どれも大切なものだと思いますが、特に④と⑤を大切にしてきました。部活動を指導してきて、当然すべての生徒がプロになるわけではありません。だからこそ、部活動を通して、人としてどう成長するのかを大切にしてきました。

また、自分なりの「夢や目標」を持ち、それに向かって挑戦していく姿勢はとても大切であると考えています。「夢や目標」を達成する方法は、小さなことを積み重ねること、絶対にあきらめない強い心を持つことです。

自分の代わりに「夢や目標」を叶えてくれる都合の良い人など存在しません。こんなことをスポーツ少年団の子供たちに常々伝えています。

質問③

OECD Education 2030

- ①新たな価値を創造する力
- ②対立やシレンマを克服する力
- ③責任ある行動をとる力

かほく市の教育全体をおして実践していることがあったら、教えてください。

①探究活動に力を入れています。自ら課題を見つけ、調べ、仲間と協力しながらどうすればよりよくなるかと考える時間を設定しています。

③最高学年の児童生徒がモデルとなる学校は、とても良い状態にあると思っています。最高学年の児童生徒が、一番素晴らしい学校の顔となり、その姿を後輩に見せることが出来るよう育成してほしいと先生方に伝えています。



質問⑤

部活動地域展開について

これまでに取り組んできたことを教えてください。

令和4年度に、庁内に推進体制(学校教育担当課、スポーツ担当課)を設けました。また、地域移行に関するアンケート調査を行いました。

◆アンケート対象(児童、生徒、保護者、教員、地域スポーツ文化団体)

【児童】 地域クラブへ期待すること など

【生徒】

- ・部活動に入っている目的
- ・部活動について感じていること
- ・地域の方が指導することについてどう思うか など

【保護者】

- ・地域展開へ賛成か反対か
- ↓賛成・「どちらかと言えば賛成」：63.9%
- ・妥当と思われる会費は
- ↓1,000円～2,999円：44.7%
- ↓3,000円～4,999円：24.4%

【教員】

- ・兼職兼業の意向
- ・上記で意向なしの場合、その理由
- 【団体】 地域展開に協力できるか など

質問④

スポーツ庁は、学校は、生徒の育成に関わる主体の一つとして、地域におけるスポーツ団体等と協力・協働して地域のスポーツ環境の整備充実に取り組む必要がある。と提言しています。現在の学校現場にできることはどんなことでしょうか。

学校側から地域に協力を働きかけるといふ姿勢が必要だと考えています。どうしても、学校と地域の間には目に見えない壁があるように感じています。その壁を取り除くためには、学校の側から地域にアプローチをしていくことが必要だと感じています。

地域との協働は、スポーツに限った話ではありません。かほく市では、以前から地域と協働した学校運営に力を入れてきました。県内自治体で最も早く、平成28年度に市内の全小中学校をコミュニティ・スクールとしました。市内の全ての学校に学校コーディネーターという、地域と学校の橋渡しをする職員を配置し、学校側から積極的に地域の方々に学校運営への参画を呼び掛け、地域の方々の力を活かした学校運営を行ってきました。

スポーツ(及び文化活動)の分野での地域との協働として、部活動の地域展開は積極的に進めていく必要があると考えています。



しかし、それは、単に部活動を学校から切り離してしまうという考え方で行うべきではないと考えています。部活動がこれまで担ってきた、生徒の成長という役割を地域の方々にも担っていただき、地域全体で子供たちを育てていくという考え方を、地域の方、また学校教職員双方が持つてほしいと考えています。



学校教職員には、部活動の地域展開が進んでいる中であるからこそ、子供たちの様子や指導方針について、地域の方と積極的にコミュニケーションをとることが必要であると考えています。この「地域の教育力の向上」は、教育長として目指している大切な方針の一つです。

令和5年度～6年度は、私自身が部活動地域移行コーディネーターとして直接、地域展開に携わってきました。

当初、全ての競技団体との協議の際、「忙しいのは学校の先生だけではない！」「どうして先生たちの仕事を一般人に押し付けるんだ！」などの厳しい声をたくさん浴びました。

しかし、地域スポーツの活性化には地域移行が必要であることや、教員に任せきれいの現状は限界にきていることなどを繰り返し伝え、競技団体との意見交換を継続してきました。

その継続が、説得から納得へと繋がっていったのだと思っています。

これら連日の協議・打合せを経て、令和6年度に3つの競技（バスケットボール、軟式野球、ソフトテニス）で、休日の活動を地域移行することができました。そして、令和7年度には、平日も含めた3つの完全地域展開クラブと4つの休日地域展開クラブの計7クラブで、正式に地域クラブの運営をスタートしました（うち1クラブは年度途中で完全地域展開）。

今年度は、7つの完全地域展開クラブと1の休日地域展開クラブが運営を行っており、市内の全ての部活動で休日の地域展開は完了しました。

質問⑨

中学生に関わってくださる指導者へのアドバイスをお願いします。

大切なことは、生徒が自分でよりよくなると思えることです。足りないことを足りないと感じるだけでなく、生徒が自分で足りない部分を成長させたいと思えるような働きかけをして欲しいと考えています。

また、他者との対話などを大切に、自分自身の新たな気づきを自覚させる指導をお願いしたいと思っています。



質問⑩

その中で見つけた課題を教えてください。

かほく市では、クラブ運営は教育委員会が行っています。（運営主体：市教委、実施主体：各競技団体）

地域の方々には指導に専念していただき、事務的な部分は、行政がフォローしようという考え方で役割分担を行っています。その分、教育委員会の事務的負担はかなり大きくなっています。

地域展開に伴い、練習場所の確保にも苦労しました。地域展開した場合、どうしても、指導者の皆様のお仕事の関係で活動時間が夜になることが多くなります。

既存の体育施設、学校施設の夜の定期利用は、もともと空きがないぐらい予定が入っていたこともあり、新たなクラブの活動場所の調整に苦労しました。財政的には、現在は国の補助もありますが、継続したものになるのかなど注視していかなければいけません。

特に、休日地域展開クラブでは、平日の部活動と休日の地域クラブで指導者が異なるということになりますので、地域と学校の密接な連携が求められます。

それから、地域展開が進むことで、（競技志向の敬遠、金銭面の負担などの理由で）何もなくなる生徒が増えていくのではないかということに危惧しています。

質問⑪

これから部活展開を進めていく担当者へのアドバイスをお願いします。

当然のことですが、手段と目的を混同しないでほしいと思います。部活動の地域展開それ自体は目的ではありません。部活動の地域展開の目的は、生徒にとってよりよい指導を受けられること、将来にわたって生徒がスポーツや文化芸術活動に親しめる環境を確保することです。

地域展開の形を考えるときにも、どのような形での地域展開が生徒にとって最も良い形となるかを常に考えてほしいと思います。

地域展開の担当をされている行政職員の方は、とても大変な思いをされていると思います。ですが、今の皆さんの頑張りがこの先の生徒のスポーツや文化芸術活動の在り方に関わってくるということを誇りに思い、ぜひ、この事業を達成してほしいと思います。



質問⑫

今後の展開について、具体的に教えてください。

まずは、平日を含めた地域展開を進めていきたいと思います。

また、地域展開が進むことで、発生するものが予測される何も活動を行っていない層の受け皿となるような活動にも力を入れていきます。このあたりは、地域の方もお借りしながら、具体的には、総合型地域スポーツクラブ（クラブパレット）等と連携して進めていく必要があります。



かほく市では、部活動、地域クラブの他に、総合型地域スポーツクラブが多く教室を開講しています。先日、市内3中学校で部活動紹介の時間が設けられましたが、そこに、行政の地域クラブ担当者、総合型地域スポーツクラブのスタッフもお伺いし、生徒の皆さんに様々な選択肢があること、皆さんがやりたい活動を自分で選んで取り組んでほしいというお話をさせていただきました。

質問⑬

急激な少子化の中で先生が考える未来のことも、未来の社会を教えてください。

今後、少子化、生成AIの登場など、劇的に社会が変わっていくことが予想されます。予測不可能な社会を生き抜くことが出来るような児童・生徒の育成をしていく必要があると考えています。「自分で何をするか決める仕事」は残り、「人から言われてやる仕事」は、に取って代わられることになるのだと思います。また、自分が何をしたいのか、何を磨きたいのか、問われる時代となり、夢や目標をバカにするや路頭に迷うような時代にもなるのだと思っています。

前号のこのコーナーで、以下のことを書きました。

トップアスリートやアーティストの育成。そしてゲートウェイとしての部活動の存在。この二つを共に成就できる、そんな戦略が、『部活動の地域展開』には、必要ではないか。そして、牽引者は、やはり市町ではないか。

井上教育長さんは、津幡町立刈安小学校で3年間、ミニバスケットボール教室の指導、宇ノ気町立宇ノ気中学校、七塚町立河北台中学校で、14年間バスケットボール部の指導をされていました。そのうち、行政機関での勤務を経て、津幡町立津幡中学校、かほく市立宇ノ気中学校で校長として、素晴らしい成果を残されています。その井上先生が、部活動地域移行コーディネーターとして地域展開をリードされました。そして、その結果が、『市内の全ての部活動で休日の地域展開は完了』になったわけです。

競技団体との意見交換を継続してきました。その継続が、説得から納得へと繋がっていったのだと思っています。

先生のこの言葉が、わたしの心に刺さりました。そして、改めて思いました。本気で、取り組みれば、できるんだと。残念ながら、国や県のレベルでできることは、「お金をだすこと」です。それも、大変重要なことですが、そのお金に魂を込め、本当に意味のあるものにするのは、やはり市町だと思います。さらに言うならば、素晴らしい実践例は参考にはなりますが、そのままマネをしても、うまくいく可能性は高くありません。その市の、その町の、長所を活かした、そこでしかできないことを創造していかねばならないと思います。

スポーツであれ、文化活動であれ、人生を豊かにしてくれるそんな世界の扉を開いてくれるという部活動の存在意義

あえて、もう一度、この文を書きました。よろしくお願いいたします。

設置施設・店舗一覧

GO-SPOは県内以下のお店・施設等で配布しております

■石川県全域

ゴーゴーカレー各店舗

■金沢市

- 株式会社アルプ
- 株式会社アルトラベル
- ゼビオ金沢
- 中安旅館
- 石川県青少年総合研修センター
- 天然温泉健康ランド ゆめのゆ
- テルメ金沢
- 岡ホテル
- チサンバジェット金沢駅前
- 金沢マンテンホテル駅前
- 金沢セントラルホテル
- ホテルマイステイズ金沢キャッセル
- ホテルマイステイズプレミア金沢
- ホテルマイステイズ片町
- 鹿島屋旅館
- ホテルガーデンホテル金沢
- いしかわ総合スポーツセンター
- 石川県立野球場
- 石川県立武道館
- 金沢市文化スポーツコミッション
- 金沢市教育委員会
- 金沢市総合体育館
- 中央市民体育館
- 城南市民体育館
- 城東市民体育館
- 城北市民体育館
- 城西市民体育館
- 森本市民体育館
- 浅野川市民体育館
- 額谷ふれあい体育館
- 西部市民体育館
- 鳴和台市民体育館
- 城北市民テニスコート
- 東金沢スポーツ広場
- 西金沢テニスコート
- 大徳テニスコート
- 陸上競技場(弥生)
- 金沢市宮球技場
- 専光寺ソフトボール場
- 安原スポーツ広場
- 内川スポーツ広場
- 戸室スポーツ広場
- 市民野球場(磯部)
- 駅西むつみ体育館
- 金沢プール

■河北郡

- 津幡町文化会館シグナス
- 津幡運動公園 体育館
- 津幡町総合体育館
- 津幡町屋内温水プール「アザレア」
- 内灘町教育委員会
- 内灘町屋内多目的広場
- 内灘町屋内温水プール

■かほく市

- クラブパレット
- ELU
- あそびの森かほく
- イワイ家具
- 高松グラウンドゴルフ場
- はーふたいむ
- 道の駅たかまつ
- KITO
- 魚料理・民宿 やまじゅう
- 料亭・ビジネスホテル 河北亭
- かほく市商工会ジョイアクロス
- かほく市教育委員会
- スポーツコミッションかほく

■羽咋市

- ちりはまホテルゆ華
- ビジネスホテル 羽音碧々
- 民宿 清水
- 料理旅館 大社庵
- ハートランドヒルズ in 能登
- 羽咋市役所
- 羽咋体育館

■野々市市

- 満天の湯・道の宿
- 野々市市役所
- 野々市市民体育館
- 野々市スポーツランド

■白山市

- ニュー松任ターミナルホテル
- グランドホテル白山
- ゼビオ イオンモール白山店
- ゼビオ フェアモール松任店
- ムラサキスポーツ イオンモール白山店
- 白山市教育委員会
- 松任総合運動公園 体育館
- 若宮公園体育館

■能美市

- 能美市教育委員会
- まなび文化スポーツ課

■小松市

- 粟津温泉 喜多八
- キャラバンサライ小松
- 小松市役所
- 小松市まちづくり市民財団
- 小松総合体育館
- 小松市武道館
- 小松ドーム
- 義経アリーナ
- 弁慶スタジアム

■加賀市

- アビオシティ加賀
- 加賀市役所
- 加賀市スポーツセンター
- 加賀体育館

■七尾市

- 七尾市役所
- 道の駅 能登食祭市場
- 七尾市城山体育館
- 七尾総合市民体育館
- 七尾市中島体育館
- 七尾市能登島生涯学習センター
- 七尾市田鶴浜体育館
- 七尾市みなとふれあいスポーツセンター
- ふれあいセンター山びこ荘
- 健康増進センターアスロン
- 御成地区コミュニティセンター
- 袖ヶ江地区コミュニティセンター
- 徳田地区コミュニティセンター
- 矢田郷地区コミュニティセンター
- 東湊地区コミュニティセンター
- 西湊地区コミュニティセンター
- 石崎地区コミュニティセンター
- 和倉地区コミュニティセンター
- 北大呑地区コミュニティセンター
- 南大呑地区コミュニティセンター
- 崎山地区コミュニティセンター
- 高階地区コミュニティセンター
- 田鶴浜地区コミュニティセンター
- 中島地区コミュニティセンター
- 能登島地区コミュニティセンター

■協会事務局

- 石川県スポーツ協会事務局
- 石川県障害者スポーツ協会事務局
- 金沢市スポーツ協会事務局
- 白山市スポーツ協会事務局
- 野々市市スポーツ協会事務局
- (一社) 津幡町スポーツ協会事務局

授業や部活動を通して
一生の仲間と出会おう！



勉強やスポーツに全力で
打ち込むための環境！

“夢をかなえる”
を支え応援！
チカラ
君の主体性は
ここ
金沢で目覚める！



学校法人 金沢高等学校

〒921-8515 石川県金沢市泉本町3丁目111番地
TEL (076)242-3321 FAX(076)243-7231
ホ-ム^ -ジ https://kanazawa-hs.jp



GO-SPO 広告主募集中！

石川県のスポーツと一緒に応援しませんか？

発行日 奇数月の1日発行(年6回)
発行部数 10,000部
配布先 石川県各市町の体育施設や各種店舗など

お問い合わせは、発行元の株式会社ワン・オールまで
メールでのお問い合わせは onespo@oneall2013.co.jp ^
公式LINEでもお問い合わせを受け付けております。



TEL:076-207-7974

広告掲載料金一覧

掲載面	サイズ	1回掲載料金(税込)
中面	1/4 ページ	¥16,500
	1/2 ページ	¥33,000
表2	1 ページ	¥66,000
	見開き2 ページ	¥110,000
表2	表紙裏	¥110,000
表3	裏表紙裏	¥110,000
表4	裏表紙	¥165,000